

製品安全データシート

会社名 株式会社 インターベツト
担当部門 ホートリー&アクアカルチャー事業部
住 所 東京都千代田区九段北 1-13-12
連絡先 TEL 03-6272-0770
FAX 03-6238-9080
作成日 2012年 9月 12日(新規)
改訂日 2014年 3月 26日

【製品名】 マキシグロ(J)
(組成) ヤマイモ抽出物 炭酸カルシウム 植物油

【物質の特定】

製品の区分 混合物(ユッカ抽出物含有混合資料)
化学名 ヤマイモ抽出物 炭酸カルシウム 植物油
含有量 1.56% 97.44% 1%
CAS No. — 471-34-1 —

【危険有害性の分類】

分類の名称 分類基準に該当しない。
危険性 通常の手配り方法では危険性はない。
有害性 不明(飼料に添加して使用)
環境影響 不明(悪臭対策に使用)

【救急措置】

衣類に付着した場合 汚染された衣類等を脱ぎ、洗濯する。
皮膚に触れた場合 触れた部分を石鹼をつけて水を流しながら洗浄する。違和感がある場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合 直ちに清浄な水で最低 15 分間、眼を洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。
吸入した場合 新鮮な空気の下で安静にして、様子を見る。呼吸が困難な場合は、人工呼吸を行い、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 直ちに大量の水を飲ませ、医師の診察を受ける。

【火災時の措置】

消火方法 初期の消火には、消火剤を用いて消火する。
大規模火災の際には泡消火剤や土砂等を用いて覆い、空気を遮断することも有効である。
消火作業の際には、必ず保護具を着用し、風上から作業する。
燃えると、有毒ガス(炭素、窒素、硫化物、フッ素や塩化化合物等)を発生する可能性がある。
消火剤 水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等。

【漏出時の措置】

・掃き集めて、ビニール袋に入れて、焼却する。掃き取った後は、大量の水で洗い流す。

【取扱い及び保管上の注意】

- ・粉末製剤であり、空気中に飛散する可能性があるため、換気のできる場所で取り扱うこと。
- ・帯電する恐れがあるため、伝導性のよい容器を使用すること。
- ・適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・作業後には衣類を良く払い、手足や口、眼、顔等をよく洗浄する。
- ・使用済みの空容器は、一定の場所を定めて集積する。
- ・保管は、直射日光や高温・多湿な場所を避け、密閉して屋内に保管する。

【暴露防止措置】

- | | |
|-------|--|
| 管理濃度 | 設定なし。 |
| 許容濃度 | 設定なし。 |
| 設備対策 | 取扱いは換気の良い場所で行う。
取扱い場所の付近には洗眼器具の設置が望ましい。 |
| 個人保護具 | 簡易防塵マスク、ゴーグル型保護めがね、ゴム手袋、長ズボン、長袖シャツ等。 |

【物理・化学的性質】

- | | |
|-------|---------|
| 外 観 | 淡褐色の粉末 |
| 溶 解 性 | 水に溶けない。 |

【危険性情報】

- | | |
|-----|--------------------|
| 引火点 | なし。 |
| 可燃性 | あり。 |
| 発火性 | 自然発火性はない。 |
| 爆発性 | 通常取扱いで安定。 |
| 安定性 | 通常保管や一般的な使用条件では安定。 |

【安定性と反応性】

- | | |
|------|---------------------|
| 禁忌条件 | 火炎。 |
| 禁忌物質 | 酸化物や強酸、強アルカリとの混合。 |
| 分解物 | 炭素、窒素、硫化物、フッ素や塩素化合物 |

【毒性情報】

- | | |
|------|---------------|
| 急性毒性 | ラットで毒性兆候は認めない |
| 局所刺激 | 不明 |

【廃棄上の注意】

- ・除害装置付きの焼却炉で少量ずつ焼却するか、専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
- ・少量の場合は、開放型の焼却炉で焼却する。
- ・空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。

【輸送上の注意】

- ・容器が破損しないよう、手荒な取扱いを避ける。
- ・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う

【適用法規】

飼料安全法

【その他】

本品は、混合飼料として届出ているが、危険有害性の評価は充分ではありませんので、充分注意して取扱ってください。

